

令和３年度 第１回野田市文化財保護審議会

令和４年３月２８日

１ 議 案

（１）令和４年度事業計画（案）について

２ 報 告

（１）令和３年度事業実施状況について

３ そ の 他

（１）災害関連文化財の調査について（令和３年度）

報告（１） 令和３年度事業実施状況について

令和４年２月２８日現在

種別		実施時期	内容	備考	資料
記念物	申請・届出等 (進達)	通年	コウノトリ	国庫補助事業及び現状変更等の諸手続	
			高梨氏庭園	現状変更等に関する調整・事前調査	
	修繕		野田市市民会館（旧茂木佐平治氏）庭園	樹木（アカマツ）補強工事	
有形文化財 (建造物)	指定・登録等	１０月	野田市立中央小学校	国登録：３年館・７年館・旧正門 ２棟・１基	①
	調査・記録作成	通年	関宿城埋門・茂木家（西山）・茂木佐公園・中央小学校ほか	現状変更及び国登録のための調査・記録作成	
	申請・届出等 (進達)	１月	野田市郷土博物館・野田市立中央小学校（７年館）	修繕に係る令和４年度国庫補助事業	
民俗文化財	イベント	新型コロナウイルス感染症対策のためいづれも中止または延期	第23回野田市民俗芸能のつどい	次年度に延期	
	後継者育成事業		小学生を対象とした後継者育成事業	実施なし	
	調査・記録作成・指定		災害関連文化財	野田・上花輪地区の石造物・古文書等の実査	
埋蔵文化財	協議	随時	協議件数 98 件		②
	確認	随時	確認調査 14 件	国庫・県費補助事業、市単独事業	
	本調査	随時	本調査 0 件	市実施（２件）	
	整理作業	４～３月	岩名作遺跡	市単独事業	
		１～３月	令和２年度調査市内遺跡	国庫・県費補助事業	
	刊行物	３月	岩名作遺跡第 10 次	市単独事業	
		３月	令和３年度野田市内遺跡発掘調査報告	国庫・県費補助事業	
教育普及・活用	文化財出前授業	４月～７月	郷土史の授業・昔体験	郷土史の授業・昔体験：市内小学校 14 校 鈴木貫太郎：市内小学校 5 校	
	刊行物	３月	のだ文化財だより	第 30 号	
	講師派遣	随時	郷土史講座ほか	生涯学習大学校（撮影による配信）・二川公民館・中央公民館・北部公民館・南部梅郷公民館・流山市立博物館友の会	
	工事	４月～３月	解説板設置・施設整備など	関宿城跡バーゴラ撤去、文化財資料棟解体、中根八幡前遺跡改修工事	
鈴木貫太郎記念館	令和元年の台風 19 号の影響により休館中。 被害の少なかったロビーでビデオ放映、小規模展示及び副館長による解説は実施している。				
	常設展示	通年	鈴木貫太郎翁の生涯と功績に関する展示		
	資料調査	随時	鈴木貫太郎関係資料の調査	貫太郎翁関係者への聞き取り 亜細亜学園学園史展示室	
	顕彰事業	１０月	さわやかちば県民プラザ主催事業 「ちばのお宝再発見」への出展	日時：１０月２０日～１０月３１日 場所：さわやかちば県民プラザ県民ギャラリー １０月２０日に柏市立十小中学校ギャラリートーク実施 １０月２３日にギャラリートーク実施	③
	物品修繕	４月～３月	なし		
	寄贈受入れ	随時	鈴木貫太郎翁に関する資料等の寄贈受入れ	鈴木貫太郎書簡等を 1 名から 1 点受入れ	
	資料整理	通年	資料目録の作成及び資料の読解		
	その他	１２月	鈴木貫太郎記念館パンフレットのリニューアル	内容を臨時休館中のものに変更	
旧花野井家住宅	常設展示	通年	重要文化財建造物・民具の展示	新型コロナウイルスの感染症対策のため、年度当初より 5 月 7 日まで臨時休館	
	その他	1 月 26 日 (中止)	消防訓練	教育委員会、消防本部、消防署、消防団による訓練及び清水保育所園児見学を予定⇒中止	
その他	表彰	1 1 月 1 日	令和３年度千葉県教育功労者表彰	萩原法子審議委員が芸術文化の部・個人の部で受賞	④
	施設管理	随時	除草、清掃、樹木剪定	処刑場跡・関宿城跡・歴史広場・鈴木貫太郎記念館・岩名古墳公園・旧花野井家住宅・埋蔵文化財整理室・中根八幡前遺跡・山崎貝塚公園	
	助成等	４月～１０月	野田市地域史編さん事業補助金	1 件：関宿を語る会「繋ぐ」	
		３月	指定文化財維持保存奨励金	12 件：野田貝塚ほか	
			無形民俗文化財維持保存奨励金	5 件：野田のばっぱか獅子舞ほか	

議案（1） 令和４年度事業計画（案）

種別		実施時期	内容	備考
記念物	申請・届出等（進達）	通年	コウノトリ	補助事業等の諸手続き
有形文化財 （建造物）	調査・記録作成	通年	近代建築（住宅・社寺）	国登録のための調査・記録作成
	申請・届出等（進達）・修繕	通年	野田市郷土博物館・野田市立中央小学校（７年館）	補助事業等の諸手続き・修繕
民俗文化財	イベント	１２月上旬	民俗芸能のつどい	櫓のホール・小ホール
	調査・記録作成事業	通年	災害関連文化財の調査・指定	石造物・古文書等の調査
埋蔵文化財	協議	随時		
	確認・本調査	随時		国庫・県費補助事業、市単独事業
	本調査	随時		公共事業・民間開発
	整理作業	９月～３月	寺後遺跡、岩名作遺跡（第１０次）	市単独事業
		１月～３月	令和３年度調査市内遺跡	国庫・県費補助事業
	刊行物	３月	令和４年度野田市市内遺跡発掘調査報告	国庫・県費補助事業（令和３年度調査分）
		３月	野田市市内遺跡発掘調査報告	市単独事業
教育普及・活用	文化財出前授業	４月～３月	郷土史の授業・昔体験 鈴木貫太郎関係	市内小・中学校
	刊行物	３月	のだ文化財だより	第３１号
	学習受け入れ	随時		
	講師派遣	随時	郷土史講座など	生涯大学校、さわやか千葉県民プラザ、公民館（関宿中央、南部梅郷、福田）ほか（予定）
鈴木貫太郎記念館	令和元年の台風１９号の影響により休館中。 被害の少なかったロビーでビデオ放映、小規模展示及び副館長による解説は実施する			
	資料整理	通年	資料目録の作成	
	資料調査	通年	鈴木貫太郎関係資料の調査	
	物品修繕	４月～３月	記念館所蔵絵画の修復委託	油絵３点（「鈴木貫太郎」、「鈴木由哲」、「鈴木きよ」）
	顕彰事業	４月９日～５月２９日	野田市郷土博物館市民コレクション展「刀百姿－彩褪せぬ日本刀の燦－」	記念館所蔵の刀剣（２振）を展示
旧花野井家住宅	常設展示	通年	重要文化財建造物・民具の展示	
その他	施設管理	随時	除草、清掃、樹木剪定	処刑場跡・関宿城跡・歴史広場・鈴木貫太郎記念館・岩名古墳公園・旧花野井家住宅・埋蔵文化財整理室・上花輪収蔵庫・中根八幡前遺跡・山崎貝塚公園
	助成等	３月	指定文化財維持保存奨励金	１２件：野田貝塚ほか
			無形民俗文化財維持保存奨励金	５件：野田のぼっばか獅子舞ほか
			野田市地域史編さん事業補助金	未定

資料① 野田市立中央小学校の国登録有形文化財への登録について

1. 所在地

野田市野田字東上町 6 1 1 ほか

2. 登録物件

(1) 3 年館：鉄筋コンクリート造 3 階建 昭和 3 年建築

(2) 7 年館：鉄筋コンクリート造 3 階建 昭和 7 年建築

(3) 旧正門：石造・煉瓦造・石畳付属 大正 6 年建築

3. 登録年月日

令和 3 年 1 0 月 1 4 日(木)

4. 文化財の概要

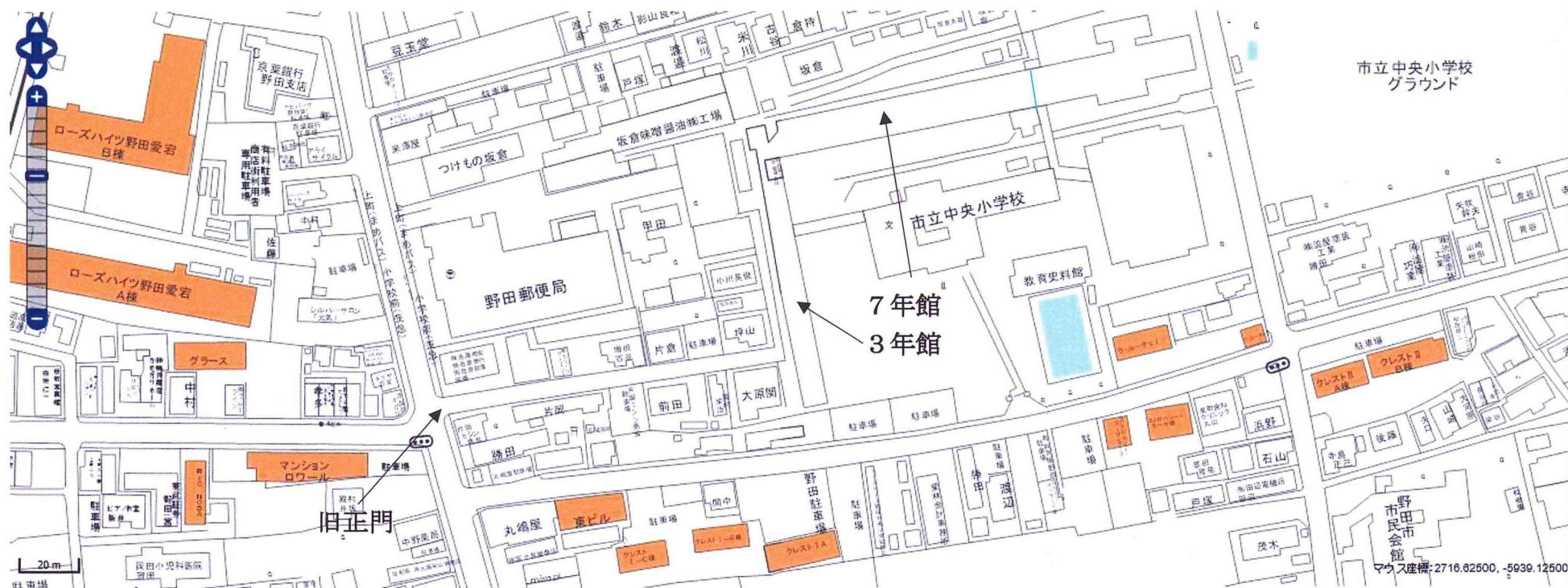
3 年館・7 年館は、旧東京市が関東大震災を契機として設計した「復興小学校」を範として建築された校舎である。

「復興小学校」は、耐震耐火性能を重視しつつ児童主体の「新教育思想」を採り入れて設計された鉄筋コンクリート造 3 階建であり、各部に表現主義的なデザインを施し、換気施設などに先進的な設備を備えることを特徴とする。

3 年館・7 年館には「復興小学校」の設計規格こそ用いられていないが、その内外装には表現主義的なデザインが多用されており、また、屋上のサンルームや外壁柱に換気用配管を備えるなど先進的な設備が装備されるなど、その設計思想を色濃く反映したものである。関東大震災という大災害にともなう建築史上の画期を表わしているとともに、「新教育思想」を反映した時代性や近代的・先進的校舎の建設をなしえた「醤油のまち野田」の地域性を表す貴重な文化財であるといえる。



国登録有形文化財 野田市立中央小学校 ・ 旧：茂木小学校三年館・七年館 位置図



国登録有形文化財 野田市立中央小学校 ・ 近代化産業遺産群 旧：茂木小学校三年館・七年館 配置図

名称	所在地	建設年代等	登録基準	特徴・評価	備考 (調査等)
野田市立中央小学校3年館	千葉県野田市野田字東上町六一九一他	昭和三年	二 造形の規範となっているもの	桁行八メートルに及ぶ長大な三階建校舎。一階外壁は横目地を入れ、三階まで柱形を立上げ柱頭に野田醤油の亀甲紋を象る。西面の昇降口に花輪飾等を付す。内部は片廊下式で一階は校長室等、二、三階は教室を配す。野田市初の鉄筋コンクリート造小学校校舎。	建築年代は記録による。三年館の呼称は建築年代による。施工は大林組。地元醤油会社の援助で建築。



名称	所在地	建設年代等	登録基準	特徴・評価	備考 (調査等)
野田市立中央小学校7年館	千葉県野田市野田字東上町六一他	昭和七年	二 造形の規範となっているもの	敷地北面に位置する桁行九メートルの鉄筋コンクリート造三階建校舎。外壁は一階から三階までドイツ壁風仕上で柱形を付し、南面は軒上に立ち上げ煙突を兼ねる。内部は東西端を昇降口とし片廊下式で教室を配す。三年館を踏襲しつつ細部意匠に違いを見せる。	建築年代は記録による。七年館の呼称は建築年代による。設計施工は地元田村工務店。



名称	所在地	建設年代等	登録基準	特徴・評価	備考 (調査等)
野田市立中央小学校旧正門	千葉県野田市野田字東上町六二九	大正六年	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの	敷地西方の流山街道に面して建ち、石畳を経て三年館昇降口に至る。間口三・五メートル開放の花崗岩門柱に、煉瓦造モルタル洗出仕上脇柱と色モルタル仕上袖塀を付設する。柱は断面方形で頂部に水勾配を取る。脇柱に控壁付き。歴史ある小学校の表構えを形成。	建築年代は門柱刻銘による。



資料② 埋蔵文化財発掘調査について

1. 親野井古墳

所 在：野田市親野井字海道向 107 番

調 査 面 積：調査面積 150.0 m²／工事対象区域 1487 m²（古墳部分は 110 m²）

調査の概要：群集墳の可能性を考慮し、塚の周辺を含めトレンチを設定した。

調査の結果、古墳に関わる遺構や遺物は確認されず、縄文時代土器の小片が少量確認されたのみであった。今回の調査により、円形とされていた墳丘の形状が方形であること、また古墳ではなく塚であることが明らかとなった。

2. 南大和田遺跡（23 次）

所 在：野田市山崎字南大和田 1220-1、-2

調 査 面 積：掘削面積 57.7 m²／工事対象区域 407.99 m²

調査の概要：調査区は西側に向かって傾斜する斜面である。

調査の結果、古墳時代堅穴建物跡が 6 軒検出された。一部重複も認められた。また、堅穴建物跡の一つに重複するように、中世地下式坑が 1 基確認された。遺構が確認されたトレンチを中心に調査区全体から古墳時代土師器が検出されている。

確認されたいこうについて、今回の工事では斜面に盛土をすることで遺構の保護が可能と判断し、保存協議となった。

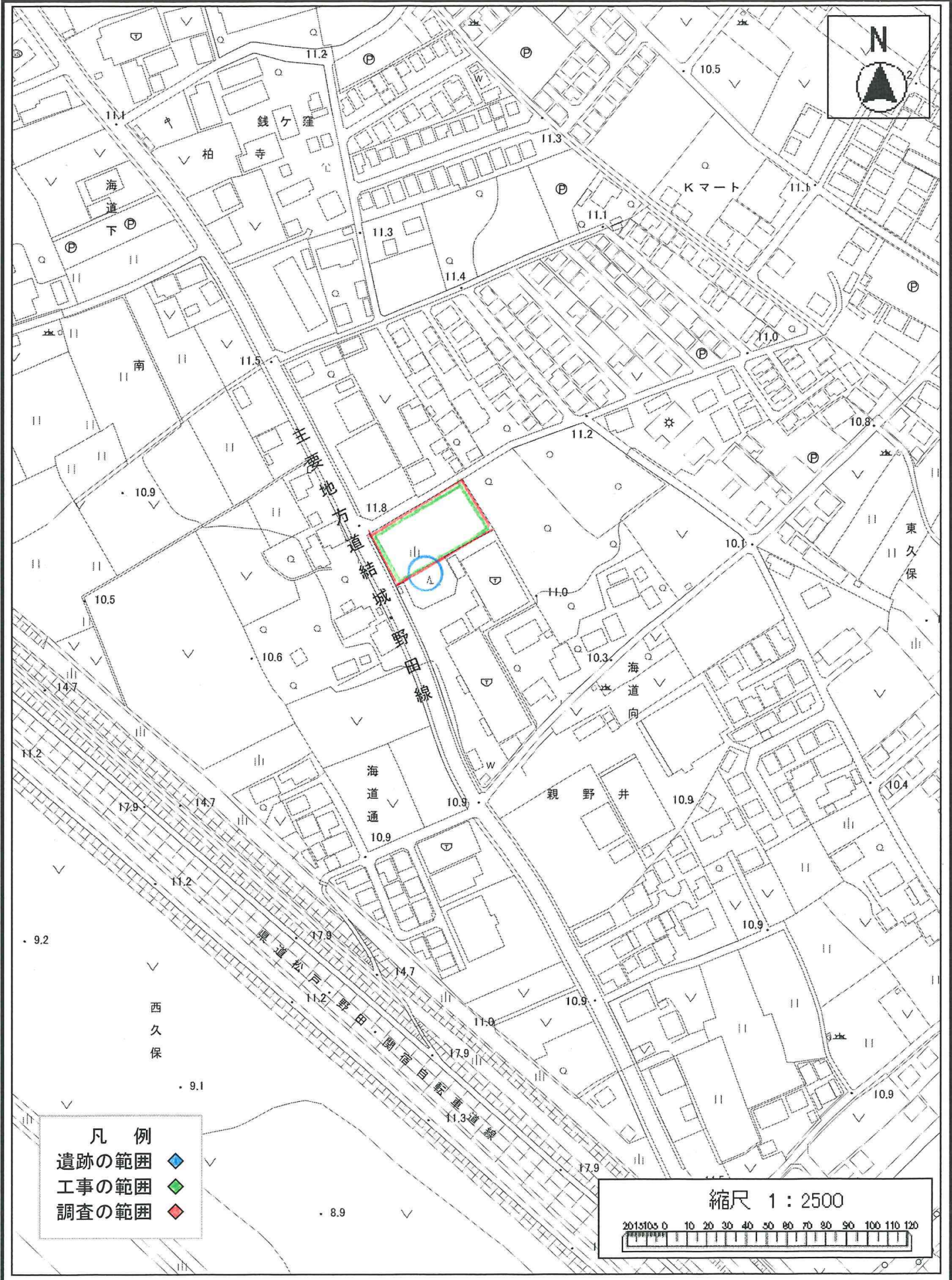
3. 桜台（高崎家裏）遺跡 詳細分布調査

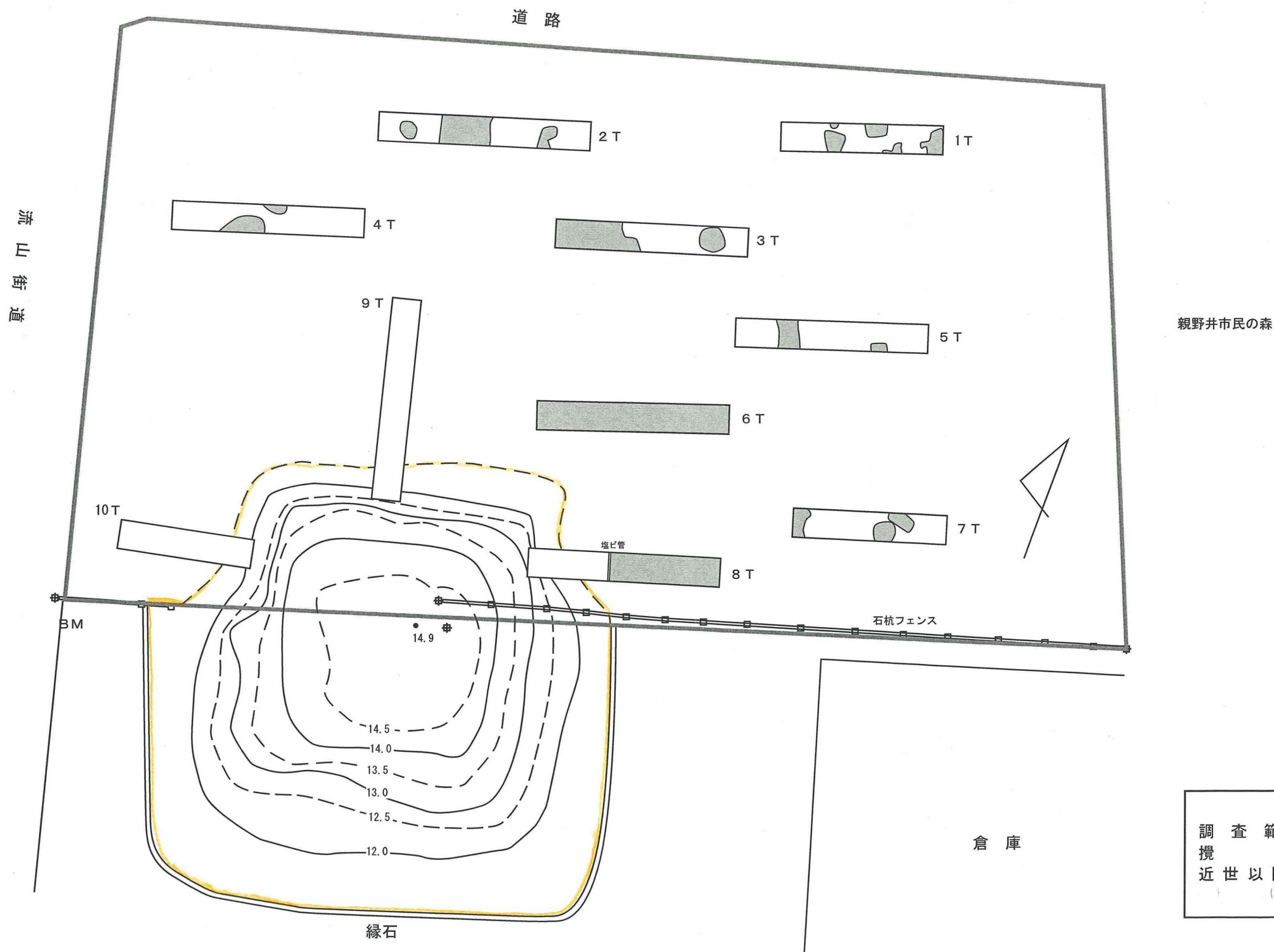
所 在：野田市桜台字 35-1 ほか

調 査 面 積：調査面積 25.5 m²／工事対象区域 2116.19 m²（古墳部分は 110 m²）

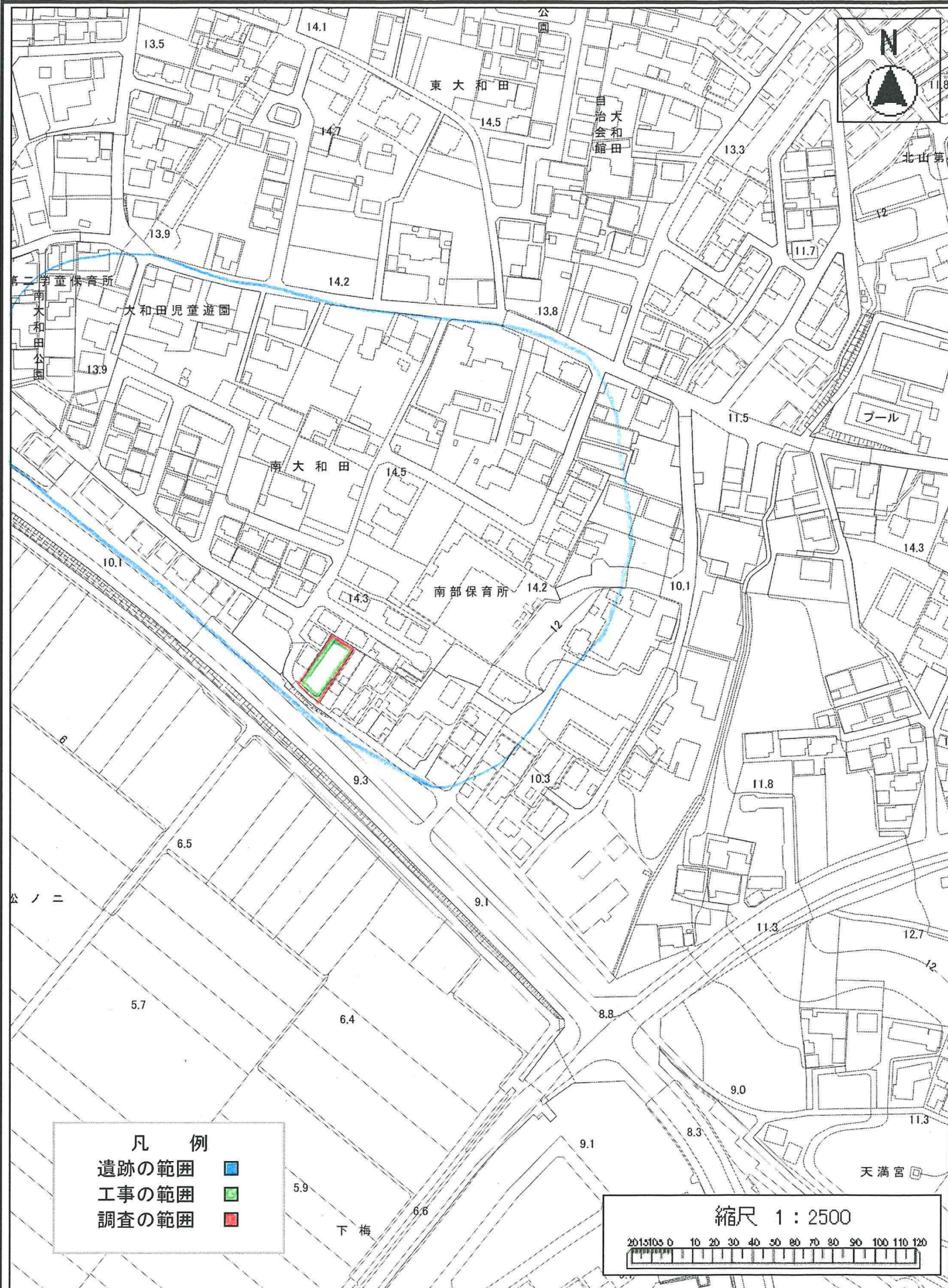
調査の概要：今回の調査では母屋裏にあり、『千葉県埋蔵文化財分布地図（1）』に記載されている古墳部分 2 箇所と、包蔵地として記載はされていないが群集墳等の可能性を考慮して前庭部分にも 2 箇所のトレンチを設定し、合計 4 か所掘削した。

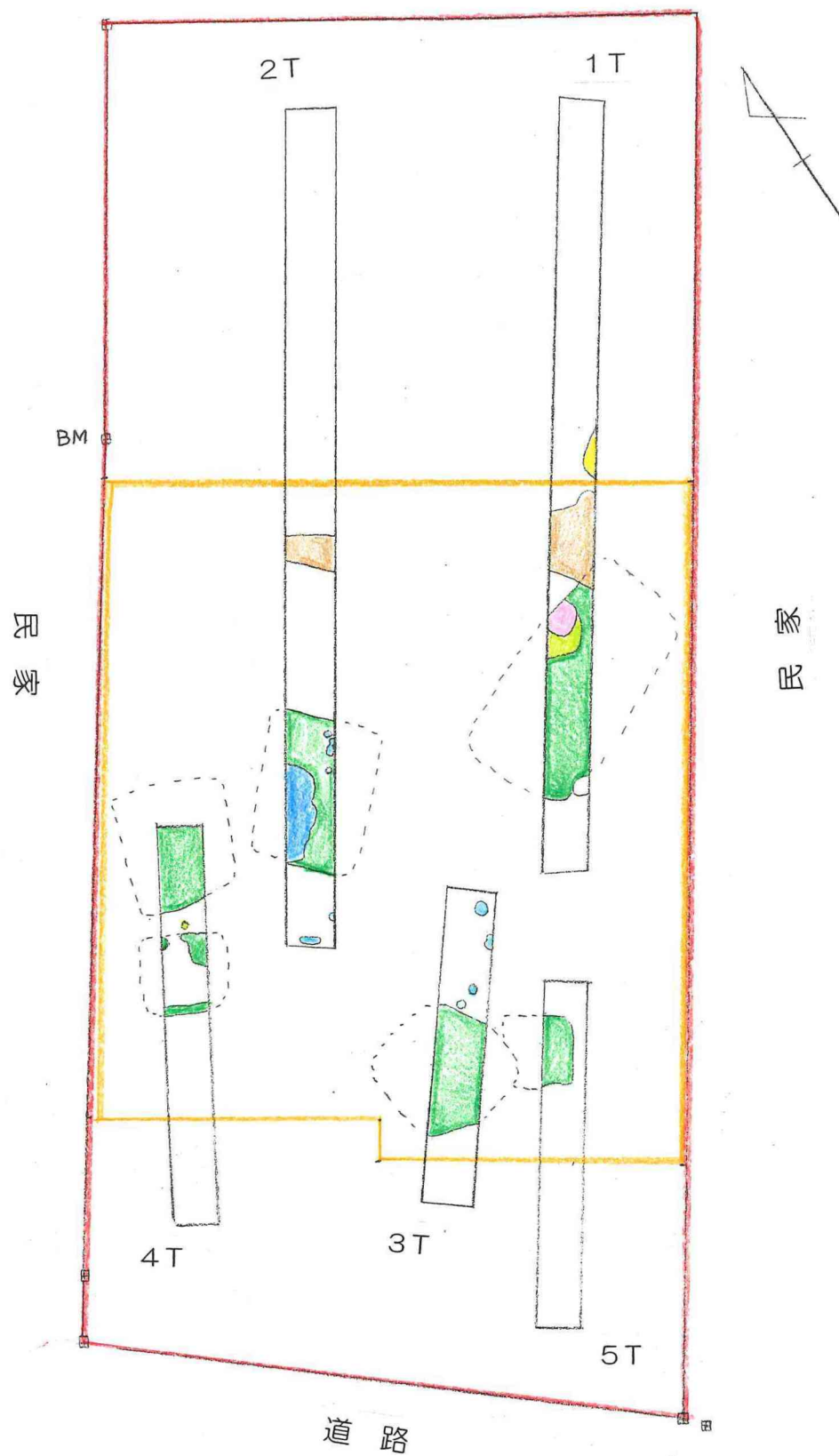
結果、墳丘裾に設定したトレンチでは古墳に関する遺物は検出されず、板碑の上部が出土した。また、調査区の制約もあり周溝を検出することはできなかったが、土層断面に黒色土の上にロームを人為的に積んでいる様子が確認できた。前庭部分に設定したトレンチでは最も西側のトレンチで溝状遺構 1 条と古墳時代前期頃の土師器を検出した。



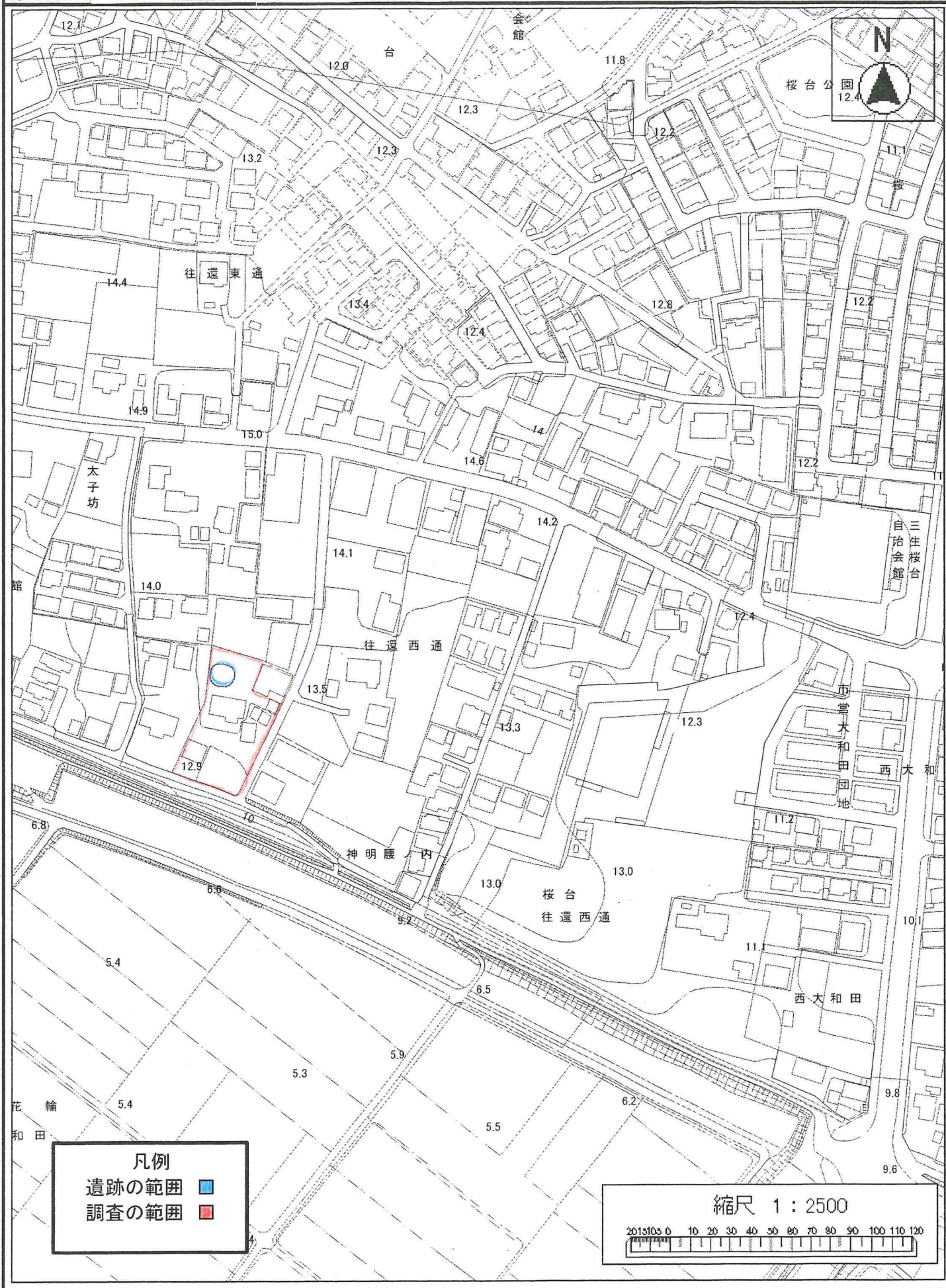


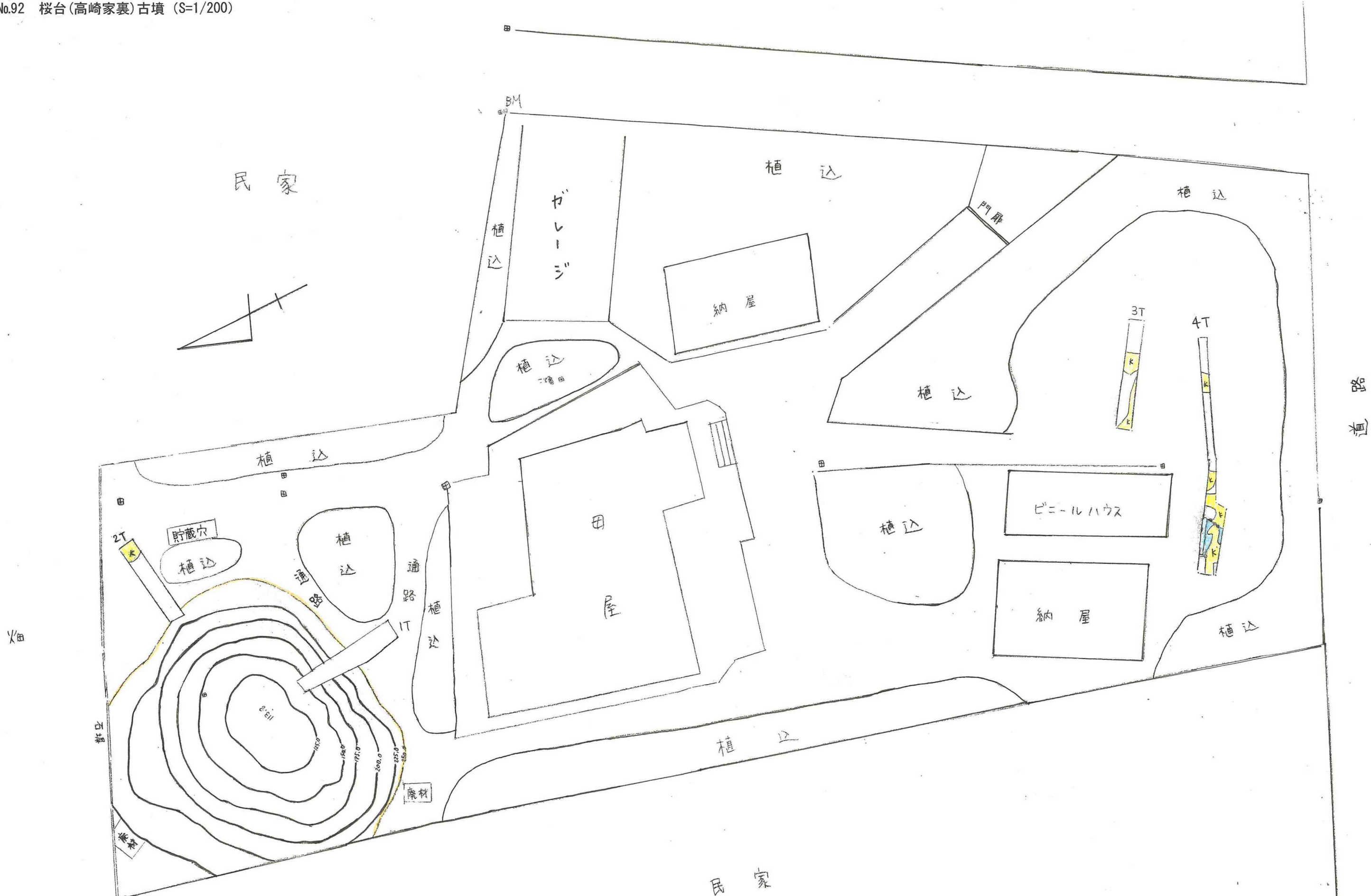
野No.238 南大和田遺跡(23次)





凡 例	
調査範囲	—
竪穴住居(古墳時代)	■
カマド	■
焼土まじりの土	■
地下式坑	■
溝	■
ピット	■
攪乱	■
引続き要協議範囲	—





凡例

古墳時代遺構 ■

攪乱 ■

古墳墳丘 —

ちばの

入場無料

お宝再発見

県内のお宝が大集合!!

会場 鈴木貫太郎記念館出張特別展

県民ギャラリー

【展示品を学芸員が詳しくご説明する
ギャラリートークのご案内】

10月23日(土)①午前10時～②午後1時～

定員:各先着10名

申込:10月5日(火)午前9時から電話受付
(さわやかちば県民プラザ 04-7140-8615)

協力:野田市鈴木貫太郎記念館

終戦時(昭和20年4月～)
第42代内閣総理大臣



ジオっちょ

銚子ジオパークの
魅力を紹介

貫太郎翁
の書
初公開!!

銚子半島の
成り立ちなどを
楽しく学びます。

【学芸員が詳しくご説明する
ギャラリートークのご案内】

10月30日(土)①午前10時～②午後1時～

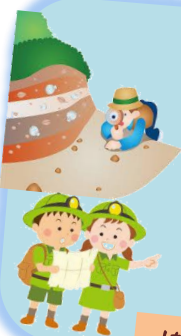
定員:各先着15名

申込:10月5日(火)午前9時から電話受付
(さわやかちば県民プラザ 04-7140-8615)

協力:銚子ジオパークミュージアム

どんなお宝が
見つかるかな?

チバニアンと
千葉の地層10選



どうして
地軸が逆転したことが
わかったのだろう?
不思議だ...
その秘密は
ぜひ見に来てね!!

協力:千葉県立中央博物館

チバニアンとは
ラテン語で

「千葉の時代」

会期 令和3年10月20日(水)～10月31日(日)

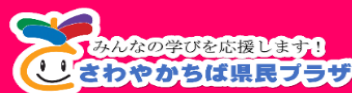
日時 午前9時～午後5時 ※期間中の10月25日(月)は休所日
※最終日は午後2時まで

会場 さわやかちば県民プラザ 1階 県民ギャラリー



◇お問い合わせ先◇

さわやかちば県民プラザ 事業振興課 04-7140-8615



令和3年度教育功労者一覧

1 教育行政の部（5名）

白井市教育委員会教育長	井 上 功
東庄町教育委員会教育長	五十嵐 正 憲
元茂原市教育委員会委員	齋 藤 晟
鴨川市教育委員会委員	根 本 新太郎
鋸南町教育委員会委員	山 野 正 人

2 学校保健の部（14名）

八千代市立村上小学校学校医	佐久間 龍 良
船橋市立行田西小学校学校医	近 藤 博 重
柏市立旭小学校学校医	染 谷 達 郎
東金市立東小学校学校医	今 井 史 規
市原市立辰巳台東小学校学校医	高 博 明
千葉市立高洲第四小学校学校医	瀬 古 康 子
匝瑳市立八日市場第一中学校学校医	守 正 英
元千葉県立市川工業高等学校学校歯科医	佐 野 正 俊
元松戸市立中部小学校学校歯科医	町 山 恵 子
元君津市立坂畑小学校学校歯科医	平 野 稔 夫
元千葉市立幕張東小学校学校歯科医	鏡 宣 昭
松戸市立第六中学校学校歯科医	本 多 道 明
山武市立松尾中学校学校歯科医	真 壁 力 子
元富津市立天羽小学校学校薬剤師	松 井 和 子

3 芸術文化の部（10名）

（1）個人の部（7名）

千葉県美術会常任理事	湯野川 恵
千葉県合唱連盟理事長	鬼 島 孝 子
千葉県民謡協会理事長	天 童 秀 将
千葉県文化財保護審議会委員	笹 生 衛
千葉県文化財保護指導委員	杉 山 奈津子
野田市文化財保護審議会委員	萩 原 法 子
流山市文化財審議会会長	小 川 浩

（2）団体の部（3団体）

多古町文化協会
我孫子の文化を守る会
上高根敬愛講社



千葉県文化財保護指導委員 杉山 奈津子

平成14年より現在に至るまで、20年の長きにわたって千葉県文化財保護指導委員として、主に安房地区に所在する国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視活動に従事している。巡視にあたっては、鴨川市域での埋蔵文化財調査の経験や、日本史の専門的な知識に基づいて適切な報告を行うとともに、文化財の保護・保存に尽力されてきた。現在も千葉県文化財保護指導委員として、継続して精力的に従事しており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。



野田市文化財保護審議会委員 萩原 法子

日本民俗学を専門とし、「おびしゃ」を中心とした無形民俗文化財に造詣が深く「いちかわ民俗誌」などの著作がある。平成5年から同23年まで八千代市文化財審議会委員、平成21年から同27年まで千葉市文化財保護審議会委員を務め、平成18年から野田市文化財保護審議会委員、同24年から柏市文化財保護委員会委員、同26年から市川市文化財保護審議会委員を歴任し、無形民俗文化財の分野を中心に重要な提言を行っており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。



流山市文化財審議会会長 小川 浩

民俗学研究者として、民俗伝承や民具などの調査を数多く行い、その成果の多くは各地の市史等の記載に反映され、地域の民俗の記録として貴重な資料となっている。平成4年より流山市文化財審議会委員として、民俗分野を中心に重要な提言を行うとともに、平成28年からは同審議会会長の重責を担い、審議会運営にも尽力している。また、平成9年からは鎌ヶ谷市文化財審議会委員も務めており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

多古町文化協会

平成5年の設立以来、多古町内にある各種文化団体相互の親睦と研修につとめ、多古町文化の発展と町民の生涯学習の推進を目的に活動을続け、同市の文化振興の基盤を支えてきた。毎年、文化祭において書道、陶芸、写真などの展示や、ダンス、民謡、合唱などの発表を行うことで、多くの町民による日頃の文化芸術活動の成果発表の場、交流を深める場とすることに努め、また、平成8年から千葉県芸術文化団体協議会に加盟し、更に活動の幅を広げるなど、本県の芸術文化振興に寄与した功績は大である。

我孫子の文化を守る会

我孫子の文化を守る会は、我孫子の自然と文化遺産を守り新しい文化の発展に資することを目的に、昭和55年7月に発足した。以来、我孫子市内の文化財の保存や顕彰にかかる活動を続け、現在、100名ほどの会員が在籍している。主な活動は、年6回の会報の発行を行うほか、史跡などへの理解を深める「散歩の会」や文化講演会などを活発に実施している。令和2年には、市民からの寄附を募って「嘉納治五郎先生の像」（明倉文夫作）を嘉納治五郎別荘跡に建立した。こうした長年にわたる活動により、本県の文化財の保護に寄与した功績は大である。

上高根敬愛講社

房総半島西部は出羽三山信仰が盛んな地域で、中でも市原市上高根地区は、典型的な三山信仰をよく残す集落である。出羽三山への参詣を果たした行人によって敬愛講社が構成され、行屋と呼ばれる施設に集って祈祷し、囲炉裏を囲んで共同飲食を行うほか、梵天供養と呼ばれる儀礼などが引き継がれている。こうした習俗は「上高根の三山信仰」として平成13年3月30日に県指定無形民俗文化財に指定され、伝承団体である上高根敬愛講社が、本来の形態を保ちながら伝統を守り続けており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。